

## 見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail: [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和5年2月24日 NO. 11

陽を浴びる深雪の切妻屋根  
月見台「市民相撲場」

## 「一人1台端末の積極的な活用を」

教育センター運営委員(西中学校:教頭) 小林 純



今、ICTを活用して、「主体的に課題に向き合い、情報を獲得したり、他者とのコミュニケーションを通して新たな視点で考察したり、表現できる力の育成」が求められている。

GIGA スクール構想で、一人1台端末が配備をされ2年目、授業に変化が起きてきた。これまで、教え込みの多い授業を行っていた教師が変わった。教師が課題を提示する。生徒はまず個人で課題を考え、それを班や同じ考えの者同士のグループで学びを深めながら、最後は全員で解決の見通しを共有し、課題解決に向かう授業を行うようになった。思考、判断、表現を手段としてICTを活用して、教師が教え込まない授業となってきた。より多くの授業で、そのような取り組みが行われている。

しかし、教師によっては、タブレットの活用が上手く行っていない者がいるのも確かである。さらに生徒にも個人差がある。現代っ子は、生まれた時からスマホやタブレットに触れてはいるが、皆が得意かという点、中には文字入力などの扱いに不慣れな生徒もいて、これらの生徒への支援が必要である。この課題は、小学校と共有して解決をしなければならない問題である。

さて、次年度の3年目へ向けて、効果的なICTの使用が求められる。教師サイドでみると、ICTの活用が活動の質を高めたり、活動の量や範囲を広げたりすることができるか、生徒理解を深めるか等の視点が大切になる。生徒サイドでは、教師から指示された課題に取り組むだけでなく、授業の中で、各自が必要と考える場面で、使い方を考え、正しく端末を使うことが求められる。そのためには、研修の充実が必要となる。幸い、当校には、ICTに精通した教師がいる。この教師を中心にして、端末（ICT）の活用について、全職員で学び合い、力をつけたいものである。

一人ひとりが授業を見直し、知識教授の一斉授業から脱却し、生徒の学ぼうとする力を大切にした授業づくりを行いたい。

一人1台端末をはじめとするICTの効果的な活用の推進は、見附市が最も力を入れている教育施策の一つである。上述のように、校内研修等を充実させ、教育の情報化と学びの最適化の推進を図り、児童生徒が主体的に学習に臨めたり、教師が児童生徒の資質・能力を最大限に発揮させたりする取り組みを目指したいものである。

## 巻頭写真に寄せて＝見附には相撲を愛する風土がある＝

◇昨秋、名木野小学校創立 150 周年記念式典(会場：総合体育館)に参加をさせて頂いた。(10月号 NO.7 掲載) このときギャラリーに大相撲：柏戸の優勝額が掲示されており、「なぜ、ここに？」と不思議に思えて調べると、村上徹氏等も、同じ疑問を持ち調べられていた。はっきりしたことはわからなかったようであるが、概ね「見附に熱心な相撲ファンがおられ、この人が中心になり、見附に巡業を招致し、数回『見附で巡業』が開催された。この熱心な相撲ファンが、特に柏戸の大ファンであり、その関係で譲り受け



柏戸の『優勝額』

たらしい。」とのことだった。柏戸は、大鵬とともに横綱として「柏鵬時代」を築き、大相撲を盛り上げた人である。優勝回数は5回で、優勝額も5枚あるのだが、総合体育館の優勝額が唯一、柏戸が全勝優勝をした昭和38年9月場所の優勝額なのである。



市民相撲場

◇先月開催の1月場所は、大関；貴景勝と前頭；琴勝峰が11勝3敗相星で、千秋楽に勝った方が優勝という一番は、大いに盛り上がった。昭和38年9月場所は、柏戸・大鵬の14戦全勝同士の対戦で柏戸が勝ち、手にした優勝額である。柏戸には、「大切な宝物」であろう。それを見附に寄贈してもらったものである。優勝額は、大事に保存しなければいけないであろう。

◇さて、総合体育館に隣接して土俵がある。神社境内や学校等に土俵を見ることもあるが、こんな立派な土俵はなかなか見られない。観客席 3,000 も凄い。相撲場の使用は夏場であるが、雪をかぶった屋根付き相撲場は、荘厳さが感じられ誠に美しい。(巻頭写真) また「なぜ、こんなに立派な土俵？」と考えるが、見附市は古くから相撲協会があり、新型コロナウイルス感染症の流行以前は『見附まつり』で、毎年「相撲大会」が開かれていたし、小中学生が対象の「見附相撲教室」もある。見附には『相撲を愛する風土』があったのだと思う。

## コラム ＝新潟県出身力士にも「柏戸」がいた＝

◇歌舞伎役者や落語家は、13代目市川團十郎、6代目三遊亭円楽のように、先代の名跡を継ぎ、何代目〇〇と名乗るが、力士の四股名も引き継がれる。昨年暮れ廃業をした元前頭の豊山。この四股名、私の年代は元大関の豊山が思い浮かぶ。大鵬や柏戸と同じ頃で、後に相撲協会の理事長になった新発田



市出身の内田勝男さんである。柏戸という四股名も、これまで何人もの力士が名乗った。柏戸の四股名は、江戸時代にさかのぼり、優勝額の柏戸は11代目である。表題の柏戸は、明治時代に活躍した柏崎市善根出身の8代目柏戸(最高位は前頭2)である。「マニアックなことを知っているの？」と思われるだろうが、柏崎市の八石山(標高 518m)に、名瀑で知られる不動滝があり、この岩窟に不動明王の石像が4基祀られ、このうちの1基が、8代目柏戸の寄進である。善根を校区とする学校に勤務をした時、このことを知った。不動明王は、生きていうちに、ご利益が得られる(現世利益)と信じられ、戦国の武将たちは、戦いの前に必勝祈願をしたそうである。不動明王を寄進した柏戸も「力士として大成しますように」と祈願をしたに違いない。

◇さて、不動明王をご本尊とする寺が、日本各地には数多くある。その中でも、最も有名な寺が「成田山新勝寺(成田不動)」である。毎年2月3日の節分の日に、この寺で、歌舞伎の市川團十郎が「豆まき」をして、多くの参詣者で賑わうニュースが放映をされる。これは、江戸時代の市川團十郎が、成田不動にあやかり、屋号を『成田屋』にして、不動明王が登場する芝居を上演したことがきっかけで、多くの庶民が、成田不動を信仰するようになったのである。

◇柏戸の優勝額から、歌舞伎役者や力士の名跡、不動明王へ、話が広がってしまったが、真の学びは、こういうことではないのだろうか。例えば、歴史で史実を学ぶことは大切である。さらに、その史実を関連性で捉えてみたり、現代に引き寄せて考えてみたりすると、見え方が広がり学びが深くなるのではないか。同時に、「学びを楽しむこともできる」と考える。(こ)

2月



# 科学教育部



《今月の1枚》  
「ウサギの足跡」市民の森にて

## 【事業アンケートのご協力ありがとうございました】

当センター科学教育部の事業アンケートにご協力いただきありがとうございました。先生方から回答いただいた内容を今後の研修等に生かしていきます。

アンケートの内容から研修会への参加以外にも「教育センターだより」、「e-fileのワークシート等」をよく活用していただいていることがわかりました。ありがとうございます。今後も準備の負担が少しでも減ることや、単元の指導の見通しが立つなど、先生方に時間的・心理的な余裕が生まれるセンター運営を目指していきたいと思います。

理科に関することでお困りのことがございましたら、ぜひ、教育センター科学教育部までお気軽にご連絡をください。一緒に解決策を探りましょう。

## 【すばる望遠鏡の快挙】木星で新たに12個の衛星が見つかる

この時期、西の夜空に木星が見えます。木星には衛星があります。イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが発見したガリレオ衛星（イオ、エウロパ、ガニメデ、カリスト）が有名です。木星の衛星が新たに、12個見つかりました。

この12個の新たな衛星を発見した望遠鏡は、すばる望遠鏡でした。（右図）すばる望遠鏡は、日本がハワイのマウナロア山頂に建設した望遠鏡です。



今回報告された12個の衛星はいずれも直径が3キロメートル以下の小さな天体です。研究チームのスコット・シェパード教授（カーネギー研究所）は、「私たちの探査では、直径1キロメートル以上の全ての木星衛星を検出可能と見積もっています。木星には、このような天体が100個以上あります。木星の月として正式に発表するために、現在も多くの候補天体を追観測しています」と語っています。

このような小さな衛星は、かつて大きな衛星が、彗星や小惑星、他の衛星との衝突でバラバラに破壊されてできたと考えられています。

参考文献 国立天文台ホームページ（最終閲覧 2022年11月16日）  
星空年鑑 2022 (株)アストロアーツ

# 科学の公園

## 小学校にもオクリンクが入ります！

ミライシードの「オクリンク」のアプリは、すでに中学校で導入されています。小学校では、来年度から見附市でも導入されることになっています。オクリンクはカードを作り、そこに自分の考えを記したり、並べ替えたりすることができるアプリです。どんなことができるのか、オクリンクの活用事例を、紹介したいと思います。

### 【目指せ！岩石鑑定士】

### 生徒に配付する課題

The screenshot shows the Ocrink app interface with a grid of cards for rock identification. The cards are labeled with rock types such as '深成岩' (Igneous rock) and '火山岩' (Volcanic rock). Below the app interface is a photograph of students in a classroom setting, gathered around a table with various rock samples, using the app to identify them.

**岩石を分類して、撮影した画像を貼り付け提出！提出BOXでは評価もつけることができます。**

置いてある岩石の中から、岩石を分類して鑑定します。例えば、「花こう岩」と記してあるカードには、自分で撮影した花こう岩の写真を貼り付けます。自身で分類したものをまとめて、「提出BOX」に提出します。この「提出BOX」では、他の子どもの意見を公開、非公開にすることや、氏名をわからなくすることもできます。他の子どもの意見を参考にしながら、作成させることもできます。

オクリンクは、グルーピングをすることや、並べ替えに効果的です。他にも、スライド資料の作成を行うこと、モデル図に書き込みを入れることなどの活用ができます。

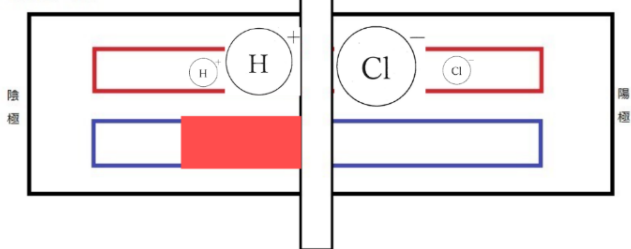
#### 実験結果



#### 考察

青と黄色の間に細く緑色の線ができた。そこを混ぜると泡がたくさん出た(二酸化炭素)  
まとめ  
炭酸水素ナトリウムとクエン酸を混ぜると水と二酸化炭素が発生する

#### 酸の正体 塩酸



**実験結果について画像を使いまとめて共有できる**

**予想を図に記すことができる**

当センター科学教育部 兼任所員の早田浩延先生からご寄稿いただきました。